

茨城県山岳連盟における選手強化の基本方針

令和 8 年 3 月14日

平素より、茨城県山岳連盟の選手強化活動に温かいご理解とご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当連盟は、茨城の選手がこの県で育ち、安心して挑戦を重ね、競技を好きなまま成長し続けられる環境を守り、育てます。選手強化は、記録や順位のためだけの取り組みではありません。選手が安全に、前向きに、長く競技を続けながら力を伸ばせる土を整え、県全体として競技力を高めていくことを目的とします。

そのためには、選手一人の努力だけでは足りません。指導と運営を担う連盟、日頃選手を支える保護者および関係者、そして選手本人が、同じ目標に向かって役割を分担し、三者で一丸となって進むことが欠かせません。

この考え方にに基づき、当連盟は強化指定制度を、「支援の枠組み」とすると同時に、選手、連盟、保護者および関係者が共有する「チームの約束」として位置付けます。強化指定を受けることは、連盟からの支援を受けるだけでなく、強化の仕組みを共に支える一員として歩むことを意味します。

つきましては、強化指定選手の選考および認定にあたり、下記の協力事項へのご理解とご賛同をお願い申し上げます。ご賛同いただけない場合は、誠に恐縮ですが、強化指定として一緒に進むことはできません。あらかじめご了承ください。

強化指定選手選考における事前確認

1. 行動とマナー

強化指定選手の皆さんには、連盟の一員としての自覚を持ち、日々の行動においても節度と配慮を大切にいただければ幸いです。クライミングジムでは、ルールとマナーを守り、周囲と良好な関係を築く姿勢を心がけてください。未成年の選手については、保護者の皆様にも同じ趣旨をご理解いただき、選手を支える立場として同様のご協力をお願いいたします。

2. 大会運営および地域事業へのご協力

当連盟のスポーツクライミング事業は、保護者の皆様、関係者の皆様のご支援により成り立っています。競技会や強化活動を継続するため、可能な範囲で大会運営および地域事業へのお力添えをお願い申し上げます。強化指定選手に選ばれた方の保護者の皆様には、各家庭における状況の許す範囲で構いませんので、連盟からの協力をお願いにご対応いただけますと幸いです。

3. 認定の見直しについて

協力事項について継続して確認が取れない場合は、状況を確認のうえ、強化指定の認定を見直すことがあります。

選手の皆さんが安全で実りある活動が続けられるよう、保護者の皆様との連携は欠かせません。以上の趣旨をご理解いただき、ご賛同いただける方を強化指定選手選考の対象とします。

今後とも、茨城県山岳連盟の活動に温かいご支援とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

協力をお願いする主な事業(予定)

- 各大会スタッフ
 - 1 メロンカップ
 - 2 坂場杯
 - 3 二階堂杯
 - 4 ユースフューチャーカップ(未定)

- 鉾田市事業スタッフ
 - 1 クライミング教室(学校授業)
 - 2 クライミング体験事業

- 龍ヶ崎市事業スタッフ
 - 1 クライミング大会等

- 笠松運動公園事業スタッフ
 - 1 クライミング教室
 - 2 クライミング体験事業

茨城県山岳連盟スポーツクライミング部
選手強化委員長 森 正夫
競技委員長 佐藤 正彦

問い合わせ先:ibk.climbing@gmail.com